

だんないの道

第10号

2013年7月10日発行

発行者：NPO 法人 CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町
千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつP1
総会報告P2
活動報告P9
コラム よりの雑記帳P10
だんないクイズP11



代表あいさつ

雨が少なく水不足が心配されましたが、最近やっと雨の日が続くようになり、今度は逆に水害を恐れる事態になってしまいました。研修生の一人も雨で電動車いすのバッテリーがショートする被害に見舞われました。皆さんは大丈夫だったでしょうか？ともあれ、琵琶湖の水不足が解消されてよかったですと思います。これは滋賀県民ならではの発想でしょうか…。

5月23日(木)、NPO 法人 CIL だんないの第3回定期総会が開催されました。ご参集いただきました方々、また期日前に委任状を送付していただきました方々のおかげで、総会の定足数に達し、無事総会を成立させることができました。そして、建設的な議事進行の末、全2つの議案が承認されました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

また、26日には2周年記念シンポジウムを開催し、約50名の方が参加してくださいました。第1部では、姜博久(カンパック)氏から、これまでの経験に基づく二次障害への葛藤や、それを取り巻く問題についての基調講演がありました。第2部では、阿藤誠介氏、音居玲子氏、私、美濃部裕道の3名によるシンポジウムを行い、湖北地域で障害者の尊厳をどのように支えていくかを考えました。多くの障害者が抱える二次障害の問題を共有し、ワーカーと医療が自己実現と二次障害の狭間で揺れる当事者とどう向き合うかを真剣に考える時間にすることができました。

6月に入り、障害者差別解消法が国会で可決・成立され、ようやく私たちの願いが日の目を見ました。国会最終盤まで、与野党の対立が激化する中で成立されるかは微妙なところだったようです。その中、閉会ギリギリで成立したことは喜びも一入です。ただ、大切なのは、これからです。今後は3年後の施行に向けて、焦点を法律を具体化する基本指針やガイドラインの中身がどのように作られていかに移したいと考えています。

湖北では、自立生活塾がスタートしました。6月10日には入塾式が行われ、3名が入塾されました。早速、大阪の自立生活センター「夢宙センター」の代表をされている平下氏から、自立生活について講演があり、皆さんに自立生活の楽しさを伝えていただきました。自立生活の実現に向け、塾生の目が少し本気になった気がします。今

後は月2～3回のペースで開催される予定です。だんないも総力をあげて塾を盛り上げていきたいと考えています。

だんないはこれから3回目の夏を経験します。夏バテしてはられないほど多くの出来事があります。それでも設立した頃の初心を忘れずに活動したいものです。皆様には引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。暑さももうすぐピーク、熱中症にならないように気をつけてください。お近くまで来られた際は是非お寄りください。おいしいコーヒーをお出しします。

美濃部 裕道

総会報告

平成24年度事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

NPO 法人 CIL だんない

1 事業の成果

様々な事業を通じて、どんなに障害が重い人々でも地域で自立生活を営める事業体制を整え、今後に向けた活動基盤の足がかりを作ることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
障害福祉サービス及び介助者派遣事業	指定居宅介護事業所「さぎなみ」が開所し、2年が経ちました。介助者職員は現在7名。利用者は脳性麻痺や筋ジストロフィーと言った重度障害の方です。3名の自立生活を支え、1名の地域移行に向けたサービスも実施できました。	毎日	派遣先	7名	4名	20,099,647
ヘルパー育成事業	ヘルパーの質確保に向けて、さまざまな研修会を行いました。ピア・カウンセリングを体験する研修も昨年に引き続き開催しました。そのほか、尊厳死問題に関するセミナーや成年後見講座への参加なども実施しました。	2月1回程度(6回)	事業所・利用者宅・各会場	7名	7名	227,438
障害者の権利擁護事業	権利擁護事業では、主に草津市で起きたバス乗車拒否問題に関する会議・研修会への出席をするなど、昨年に引き続き乗車拒否問題に取り組みました。また、障害者差別禁止法の制定に向けた集会にも相当数参加しました。	計24回程度	各会場・事業所	10名	多数	0
障害者の地域における自立生活保障事業	障害者の地域における自立生活保障事業として、ピア・カウンセリング入門講座と集中講座に加え、関西を中心とした観光地に出かける自立生活プログラムを行いました。ピア・カウンセリング講座では、毎月1回のペースで開催しました。自立生活プログラムでは、東北と関西との交流事業『ポジティブキャンプ』に参加し、市内のラーメン店とタイアップして出店しました。そのほかにも、	35回	事業所・飲食店	10名	多数	565,717

	京都や大阪へ出かけ、バリアフリー調査も行いました。 主な活動 ・ピア・カウンセリング講座 全10回 ・自立生活プログラム 全25回					
余暇活動保障事業	余暇活動保障事業は湖北地域在住の障害当事者に向けた食事を開催しました。	1回	飲食店	10名	12名	0
障害観変革事業	障害観変革事業では当事者職員が講師となり、地元の小中高校や大阪のイベントに出向き、だんないの紹介をした上で、医学モデルの障害観を社会モデルへと変革するために講演をしました。	16回	各機関	3名	1500名程度	0
福祉に関する情報提供・相談事業	福祉に関する情報提供・相談事業では、主に学校や仕事、将来において悩まれている障害当事者や家族の方への対応をしました。 また、障害者自立支援協議会への出席は当事者職員が担当しました。闊達な意見交換がなされ、長浜市・米原市の現状・将来を真剣に考える時間に行うことができました。 主な活動 ・相談件数 全71件 ・自立支援協議会への出席 全64回	相談 71回 会議 64回	事業所・各会場	相談4名 会議4名	相談71名 会議多数	0
障害者団体のハブ的機能としての支援事業	障害者団体のハブ的機能としての支援事業は、昨年度に引き続き事業といえるような実績がありませんでした。	なし	なし	なし	なし	0
事務機能請負事業	事務機能請負事業では、下記の2団体の事務を請負いました。団体の運営や事務作業に関与しました。大きな問題もなく事務を請負うことができました。 請負団体 2団体	都度	事業所	10名	2団体	0
広報・出版に関する事業	広報・出版に関する事業では、昨年度全4回の発行を実施しました。年間4回の発行目標をなんとか達成できました。今年度も4回の発行を実現し、内容も充実できるように頑張っていきたいと思っております。今後ともご購入いただきますようお願い致します。	4回	事業所	10名	100名程度 50団体程度	25,600
その他、①から⑩の事業を達成するために必要な事業	特にありませんでした。	なし	なし	なし	なし	0

平成24年度特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

NPO 法人 CIL だんない

科 目	金 額 (単位:円)		
I 経常収入の部			
1 入会金収入 1,000×4		4,000	
2 会費収入			
・正会員会費 5,000×42	210,000		
・賛助会員会費 10,000×9	90,000	300,000	
3 事業収入			
①障害福祉サービス及び介助者派遣事業	17,873,675		
②ヘルパー育成事業			
③障害者の権利擁護事業	0		
④障害者の地域における自立生活保障事業	0		
⑤余暇活動保障	0		
⑥障害観変革事業	0		
⑦福祉に関する情報提供・相談事業	88,922		
⑧障害者団体のハブ的機能としての支援事業	0		
⑨事務機能請負事業	0		
⑩広報・出版に関する事業	2,000		
⑪①から⑩の事業を達成するために必要な事業	0		
	0	17,964,597	
4 補助金等収入		261,000	
5 寄付金等収入 (23 件)		420,000	
6 雑収入		42,200	
・利子		285	
7 借入金収入		2,094,040	
経常収入合計			21,086,122
II 経常支出の部			
1 事業費			
①障害福祉サービス及び介助者派遣事業	20,099,647		
②ヘルパー育成事業	227,438		
③障害者の権利擁護事業	0		
④障害者の地域における自立生活保障事業	565,717		
⑤余暇活動保障事業	0		
⑥障害観変革事業	0		
⑦福祉に関する情報提供・相談事業	0		
⑧障害者団体のハブ的機能としての支援事業	0		
⑨事務機能請負事業	0		
⑩広報・出版に関する事業	25,600		
⑪①から⑩の事業を達成するために必要な事業	0		
	0	20,918,402	

2 管理費			
・役員報酬	0		
・給与手当	0		
・福利厚生費	0		
・租税公課	277,217		
・旅費交通費	0		
・通信運搬費	135,177		
・印刷製本費	0		
・消耗品費	0		
・什器備品費	0		
・光熱水費	162,947		
・賃借料	110,000		
・保険料	0		
・会議費	134,802		
・手数料 (ゆうちょ銀行)	0		
・返済費	547,254		
・雑費	0	1,367,397	
経常支出合計			22,285,799
当期収支差額			△1,199,677
前期繰越収支差額			1,775,821
次期繰越収支差額			576,144
(正味財産増減の部)			
Ⅲ 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
未収金 (国保連)		3,621,494	
当期収支差額		△1,199,677	
2 負債減少額		0	
増加額合計			2,421,817
Ⅳ 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
建物減価償却額		138,000	
2 負債増加額			
未払金		543,443	
短期借入金の増加額		1,563,040	
減少額合計			2,244,483
当期正味財産増加額 (減少額)			177,334
前期繰越正味財産額			895,073
当期正味財産合計			1,072,407

平成24年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(NPO 法人 CIL だんない)

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	504,144		
未収会費 (14人分)	72,000		
未収金 (国保連)	3,621,494		
流動資産合計		4,197,638	
2 固定資産			
土地 0 平米	0		
建物 1 棟	2,724,000		
固定資産合計		2,724,000	
資産合計			6,921,638
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	543,443		
短期借入金			
長浜信用金庫様より	904,000		
美濃部俊裕様より	2,575,000		
美濃部裕道より	299,489		
頼尊恒信より	1,527,299		
流動負債合計		5,849,231	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,849,231
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		895,073	
当期正味財産増加額 (減少額)		177,334	
正味財産合計			1,072,407
負債及び正味財産合計			6,921,638

平成 24 年度特定非営利活動に係る事業会計 財産目録
平成 25 年 3 月 3 1 日現在

(NPO 法人 CIL だんない)

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
預金			
普通預金口座 ゆうちょ銀行	424,007		
振替口座 ゆうちょ銀行	41,512		
普通預金口座 長浜信用金庫	38,625		
未収会費 (14 人分)	72,000		
未収金 (国保連)	3,621,494		
流動資産合計		4,197,638	
2 固定資産			
土地 0 平米	0		
建物 1 棟	2,724,000		
固定資産合計		2,724,000	
資産合計			6,921,638
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	543,443		
短期借入金			
長浜信用金庫様より	904,000		
美濃部俊裕様より	2,575,000		
美濃部裕道より	299,489		
頼尊恒信より	1,527,299		
流動負債合計		5,849,231	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,849,231
正味財産			1,072,407

監査報告書

平成25年5月21日

NPO法人 CIL だんない
代表 美濃部 裕道 殿

監 事 藤 崇之 

私は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

活動報告

日付	内容	参加者
5月2日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
5月7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	美濃部、頼尊
5月8日	JIL関西 学習会	
5月9日	「あべのおにごっこ」会議	頼尊
5月10日	TRY 事務・全体会議	頼尊
5月11日	ふりいくす	頼尊
5月15日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 全体会議（敦賀へ）	美濃部、頼尊
5月19日	だんないピア・カウンセリング入門講座	
5月23日	NPO 法人CIL だんない第3回定期総会	
5月24日	TRY 事務局会議	頼尊
5月25日	あべのおにごっこ	頼尊、小里、中川
5月25日	ぼととファーム評議委員会	美濃部
5月26日	NPO 法人CIL だんない 2周年記念シンポジウム	全員
5月27日～29日	JIL 全国セミナー&総会	
5月30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	頼尊
5月31日	5.31 障害者差別解消法の成立を求める御堂筋大行進	頼尊、中川
6月2日	DPI 関西ブロック会議	美濃部、頼尊、小里
6月3日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 全体会議	美濃部、頼尊、小里、中川
6月4日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
6月5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
6月10日	湖北自立生活塾 入塾式	全員
6月11日	採用選考研修会	頼尊
6月12日	自立生活プログラムin 大阪	
6月15日～16日	DPI 全国集会・総会 in 神戸	全員
6月18日	第1回湖北自立生活塾（ピアカウンセリング）	
6月19日	年金事務説明会	頼尊
6月20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、市川
6月20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊
6月21日	福祉教育座談会	美濃部
6月21日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部

6月23日	だんないピア・カウンセリング入門講座	
6月26日	第2回湖北自立生活塾（ピアカウンセリング）	
6月27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会	美濃部
6月28日	長浜市地域福祉活動計画 第3回策定委員会	美濃部
6月30日	第57回滋賀県肢体不自由児者福祉大会	頼尊

コラム

ヨリの雑記帳（9）

私が、自立生活センターのシゴトに就いて、学んだことが多くある。今回の「雑記帳」は、CIL だんないの仕事に就く前、研修を受けていた頃の「手習いノート」から、物事を考えていきたい。

私が、ピア・カウンセリング（自立生活センターでおこなわれているカウンセリングのスタイルのこと。以下、「ピア・カン」と略）を学び始めた頃、確かセンターのピア・カン担当者に別のセンターの集中基礎講座を勧められ、受けに行ったことがある。これが、私にとって初めての宿泊を伴うピア・カン研修だった。

この研修までには、すでに通い形式の「長期講座」を受けており、ある程度ピア・カンを身につけていた。そのことで集中基礎講座、いわゆる入門講座なので、楽に受けてきたらいいやと思っていた。でも、実際には入門講座の参加者の半数がベテランのピア・カンだったのである。

この傾向は、自立生活センターが主催する多くのピア・カン講座や自立生活プログラムに共通する。講座リーダーを行うような人が、受講生で来ていることが、ほんとうに普通にある。CIL だんないのメンバーでもいろんな講座を渡り歩いている。

どういうことかということ、世間では、リーダーと受講生には明確な隔りがある。師匠と弟子のような関係を考えればよくわかることであろう。しかし、自立生活センターの考え方は、「リーダーも受講生の1人である」という考え方なのだ。だから、その講座のリーダーも参加者の一員として参加するのである。「生涯学習」という言葉があるが、常に「手習い」なのである。たしかに、講座名は、公開講座、集中基礎講座、長期講座、リーダーズ講座、等々変化するし、難易度もそれに准じて上がっていく。またピア・カンの技術は、セッションや講座に出るに付けて上がっていく。だが、いつまで経っても手習いなのである。

それは、世間的には、自分はリーダーだとか、自分は受講生だとか、分け隔てして立場を切り分けていくことによって、その場における自分の立ち位置を明らかにさせていく。その立ち位置は、受講生だからといって、自分自身を萎縮（いしゅく）させてしまったり、講座リーダーだからといって、手習いの心を忘れてしまいそうになったりする。だからこそ、ピア・カンの「リーダーも受講生の1人である」という対等な関係性が、大きな意味を持つ。つまり、自身を萎縮（いしゅく）もさせないし、初心も忘れないところでの研修は、自分自身の本心と向き合いやすい「場」といえる。

かといって、そんな「場」ばかりではない。実際には、ピア・カン講座や自立生活プログラムという名前はついているものの、「その講座のリーダーも参加者の一員として参加する」という形式の講座ではない時もあるよく聞く。私は、運良く、そのような講座に出くわしたことはない。しかし、そのような講座であると情報として入ってくるたびに、うんざりする。

かくいう私も、月1回だんないで、ピア・カン講座があり、講座の1コマのリーダーをする時がある。いつも、どのぐらいピア・カンの「場」を共有できたかを深く振り返ってしまう。やっぱり、私と同様に「うんざり」とさせていないかと、かなり微妙なラインを行き来することがある。

ともあれ、ピア・カンや自立生活プログラムという名称で、様々な立場の人々が、対等な立場で参加できる「場」があることに乾杯！

（よりたか つねのぶ）

だんないクイズ

2周年記念シンポジウムで好評だった企画「だんないクイズ」を

抜粋してご紹介します！

問題1 CIL だんないの「だんない」にはどのような意味があるでしょうか？

- ① 「できなくても大丈夫」 ② 「段(=バリア)が無い」 ③ 「弾(=弾丸)が無い」

問題2 CIL だんないの「CIL」とは何を表わすでしょうか？

- ① Center for Inclusive Living (Inclusive=包括的な)
② Center for Independent Living (Independent=自立した)
③ Center for Impossible Living (Impossible=不可能な)
④ Center for Interesting Living (Interesting=興味深い)

問題3 本誌の表紙に掲載している、だんないのマスコットキャラクター。名前は何でしょう？

- ①木之モン ②さざなみ君 ③フラットちゃん ④よりちゃん・みのちゃん

問題4 「この法人は、障害者や地域で暮らす人々に対して、どんなに障害が重い人々でも地域で自立生活が営めるよう環境を整えることに関する事業、並びに【 】の考え方に基づいた障害観へと変革していくことに関する事業を行い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に寄与することを目的とする。」(NPO 法人CIL だんない定款 第3条)

【 】に当てはまる語句として最も適当なものを下記より選んでください。

- ① 医学モデル ② プラモデル ③ ファッションモデル ④ 社会モデル ⑤ 布袋モデル

問題5 美濃部代表の悩み事は何？

- ① だんないの運営 ② 研修生の教育 ③ 恋愛・結婚 ④ 進行中のM字ハゲ

問題6 市川副代表が行ってみたいと思っている場所は？

- ① USJ ② 東京ディズニーランド ③ UFJ ④ 廃墟巡り

問題7 頼尊事務局長の口ぐせは？

- ① 熊本では、 ② 明確に ③ いやっ、それはね、 ④ 補足いいですか、

問題8 研修生の小里は母親をどう呼んでいる？

- ① お母さん ② ママー ③ おーい

問題9 研修生の中川が前職を辞めた理由は何？

- ① なんとなく ② 人間関係がうまくいかなかったから ③ 「だんない」にだまされたから
④ 美濃部代表から、「だんないにいつ来るんですか?」「今でしょ!」と言われたから
⑤ 美濃部代表のことが好きだったから

だんないクイズ答え

問題1 ①と② 問題2 ① 問題3 ③ 問題4 ④ 問題5 ④
問題6 ② 問題7 ①と②と③と④ 問題8 ② 問題9 ④

NPO 法人 CIL だんない 〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太 滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬 TEL : 0749-50-3639

URL : www.ab.auone-net.jp/~dannai FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない